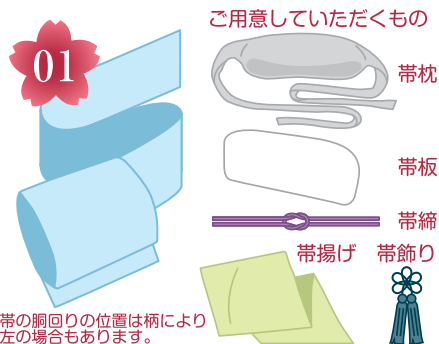


誰でも簡単。キレイに着れるセパレート着物 着付けの方法



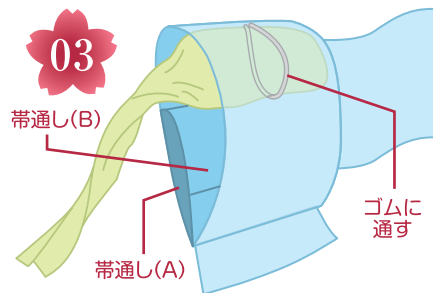
1. 帯・帯揚げ・帯枕を用意します。

帯は予め、ゴムベルトの調整金具でウエスト周りのサイズに合わせしておきます。少しきつめにすることで、作り帯がずれにくく位置もキープできます。



2. 帯枕を帯揚げで包む。

帯揚げの上下の重ねあわせが帯枕の内側になるようにつつみます。



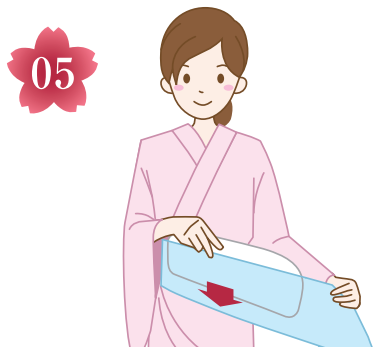
3. 帯の内側にあるゴムに帯枕を通す。

帯揚げに包んだ帯枕を帯通し(B) ゴムに通して固定します。



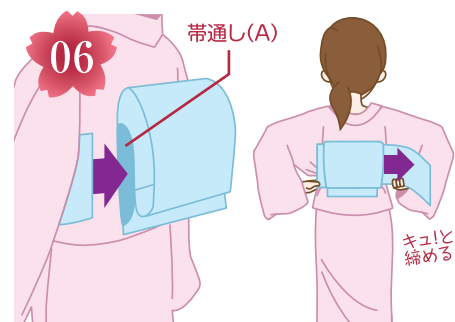
4. 帯を背負って、作り帯をウエストに固定します。

前でゴムベルトにフックをかけて留めます。



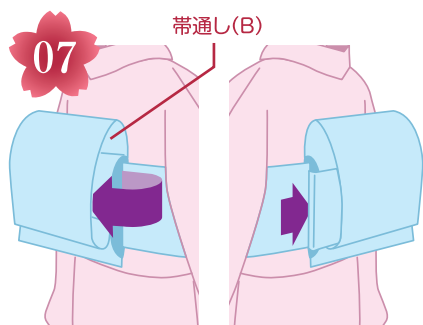
5. 帯の胸回りに帯板を入れます。

右手側にある胸回りを手前に持ってきたら帯板を帯の間に入れます。帯を体に沿わせながら手先を後ろに廻します。



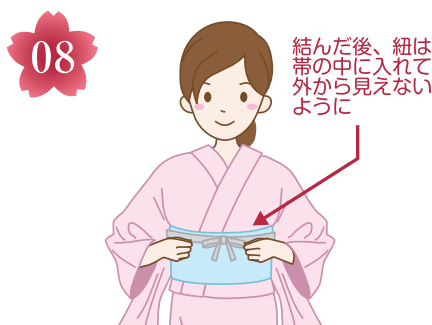
6. 手先を帯通し(A)に通します。

手先を背中の帯通し(A)に挿し込み右手で右側へ引き抜いてください。このとき、帯通しの左下を左手で持ち、帯をキュッと引いて締めてください。



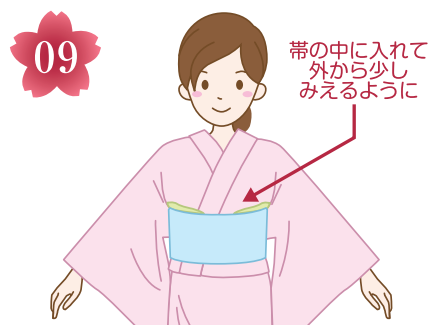
7. 帯を帯通し(B)に折り返します。

イラストの位置で折り返して帯通し(B)に通して反対側で手先を入れ込みます。折り返しがお太鼓からはみ出さないように内側にしっかり入れ込んでください。



8. 帯枕の紐を結んで帯の中に入れます。

帯枕を背中にぶつたりと付けるように、帯枕の紐を体の正面中央で結び、帯の中に入れ込みます。



9. 帯揚げを手前で結んで帯の中に入れて、帯締をします。

帯揚げは整え、結び目を帯の中に入れ込み表に出す量を加減します。

帯飾りをつけて帯を調えて完成です。

帯は洗濯しないでください。帯のお手入れの際は、霧吹きなどで湿らせてタオル等で拭き、風通しの良い場所で陰干しをしてください。